

授業科目名	貧困と社会的養護	単位数	2
担当教員名	平 雅夫	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)	実際に社会的養護の子どもの養育経験のある教員が、児童虐待等の実態や施設や里親等での養育について解説する。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、「社会的養護」が必要な子どもやその家庭を対象としている。各ケースに応じた支援が必要は何か考えることにより、自律的な課題探求能力を身に付けていくことを目的とする。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 社会的養護の実態を知ると共に、社会的養護が必要な子どもの背景にある貧困問題をはじめとした社会問題について理解を深める。</p> <p>(2) 法の「児童」の定義により基本 18 歳で支援の切れる施設や里親の元で生活している子どもの 18 歳以降の支援について理解する。</p> <p>(3) 社会的養護が必要な子どもに対する適切な養育環境について理解する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>社会的養護が必要な子どもの背景（金銭的な貧困や、心の貧困等）を知り、ソーシャルワーク等を通じた必要な支援を学ぶ。その上で、家庭で生活できない子ども達の生活の場である児童養護施設や里親等における養育内容や、それを遂行するために必要な知識等を学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：社会的養護とは何か</p> <p>第2回：貧困問題を考える①</p> <p>第3回：貧困問題を考える②</p> <p>第4回：子ども虐待に対する対応</p> <p>第5回：自立支援と家族支援</p> <p>第6回：児童養護の考え方—家庭養育と社会的養護</p> <p>第7回：施設養護の体系—施設養護の種類と形態</p> <p>第8回：施設養護と家庭養護をめぐる動向</p> <p>第9回：子どもとの関わりを考える①（被虐待児支援、障害児支援）</p> <p>第10回：子どもとの関わりを考える②（高齢児支援、自立支援）</p> <p>第11回：児童福祉施設における自立支援計画について考える</p> <p>第12回：里親・ファミリーホームにおける養育の実際</p> <p>第13回：養子縁組の実際</p> <p>第14回：社会的養護の将来像と課題について考える</p> <p>第15回：授業統括</p> <p>定期試験</p>			
<p>教科書</p> <p>(1) 相澤仁 林浩康（編）「社会的養護 I（新・基本保育シリーズ6）」2019年中央法規出版</p>			
<p>参考文献</p> <p>(1) 施設で育った子どもたちの語り」編集委員会 編『施設で育った子ども達の語り』明石書店</p> <p>(2) ブリッジフォースマイル「全国児童養護施設調査 2016 社会的自立に向けた支援に関する</p>			

る調査」NOP 法人ブリッジフォースマイル調査チーム

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。